

相生中島 だより

川が出相い
文化が生まれる

十勝川相生中島市民協働会議 第4回WSが10月13日(木) 19:00からとかちプラザ 4F 講習室にて、43名の参加者のもと大きな論点3点について活発な意見交換が行われました。参加者の皆様並びに発表者の皆様大変お疲れ様でした。



WS論点
1)展望台の設置について
2)下流帯工の必要性について
3)ハルニレ林・旧帯広川河道の復元について

発表者

大津・十勝川学会：寺井 睦久様
タンチョウ保護調査連合：井上 雅子様
帯広開発建設部 治水課：渡邊 和好流域計画官様
十勝川相生中島市民協働会議事務局長：太田 昇

まとめ

【旧帯広川の保全】

- ・旧帯広川に影響のない改修が出来ないものか？ハルニレ林と旧帯広川的位置関係に留意が必要である。
- ・河道掘削の程度、上流帯工の造り方がポイントである。
- ・左岸柏自然林の保全についても検討する。

【タンチョウの越冬地としての可能性】

- ・越冬地の分散は、タンチョウの保護に意義がある。
- ・ねぐらとしての条件は、結氷しない、浅い、緩やかな流れで風の当たらない所。
- ・地元農業者との軋轢が心配である。

【下流帯工について】

- ・自然の攪乱を確保するためには、下流帯工は必要ないのではないか？
- ・帯広開発建設部で札内川の影響も含め、下流帯工の必要性を検討中。

【観察台の設置について】

- ・観察台を設置する目的は、自然観察に加えて安全監視の目的もある。更に、盛土による新水路掘削残土の有効利用につながる。
- ・基本的には、河川断面内での盛土築造は難しいが、検討の余地有り。
- ・展望台が景観を損なわないように留意が必要である。

【その他】

- ・本日の内容を踏まえて事務局で更に検討し、11月中を目標に計画図面を作成する。
- ・次回ワークショップでは、最終案に向けて具体的な図面を基に検討したい。

千葉代表挨拶



大津・十勝川学会 寺井様

事務局 和田よりアンケート結果の説明



タンチョウ保護調査連合 井上様

帯広開発建設部 渡邊流域計画官
より川づくりWSの説明



太田事務局長 帯工と展望台について





平成17年10月23日（日）に主催：帯広市環境保全推進会議、帯広市によるとかち・市民『環境交流会』2005が開催され、十勝川相生中島市民協働会議 事務局 倉田が、『治水と自然、両方やったる！！』を発表し、当協働会議の活動をアピールをしました。

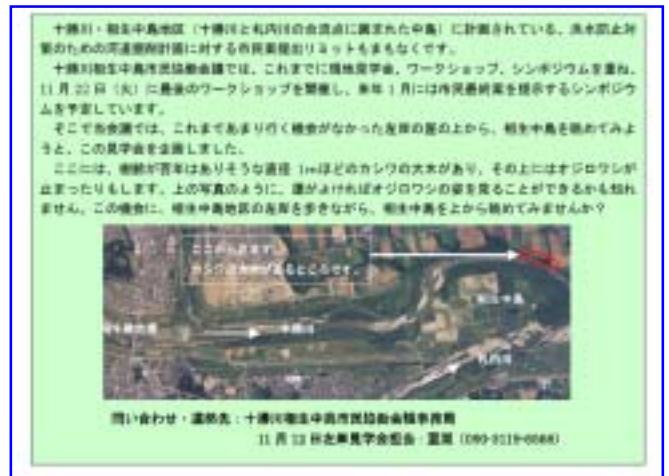
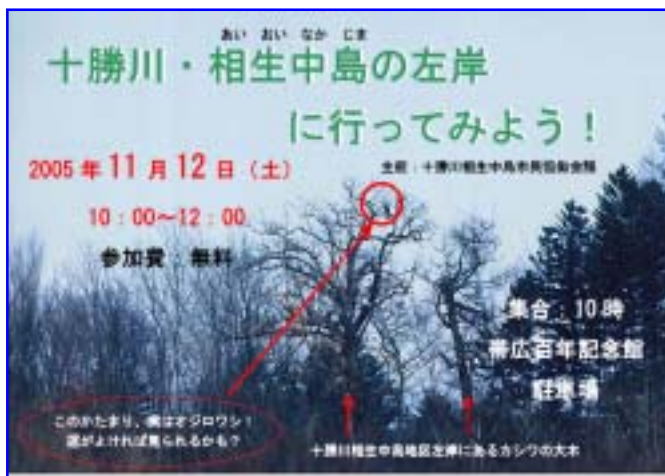
ちょっと小さいですが、式次第です



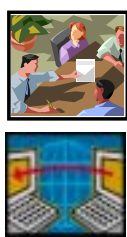
熱弁をふるう、事務局倉田さん



来る平成17年11月12日（土）に第4回WSで議題にあがりました、相生中島十勝川左岸柏林の現地見学会を10:00 帯広百年記念館 駐車場集合で開催致します。乗り合いで出発致しますので、お気軽に参加お願いします。



お知らせ



おかげさまで相生中島だよりは第5号の発信となりました。当事務局では、相生中島地区の最終市民案取りまとめと図化に悪戦苦闘中です。11月22日（火）とかちプラザにて市民案をまとめ上げた最終WSを開催致しますので、多数のご参加をお待ちしております。

HPアドレス <http://homepage2.nifty.com/aioinakajima/>
 十勝川相生中島市民協働会議のHPは、新しい情報が随時更新されています。皆様からのご意見お待ちしております。

編集 事務局 中田 利紀

